

## 備えあれば憂いなし

### —災害に備える支えあいの仕組みづくり—

日時 2016年11月18日（金）14：40～16：10

場所 千里山キャンパス 尚文館 1階 マルチメディアAV大教室

2016年4月から障害者差別解消法の施行に伴い、障害のある学生への合理的配慮としての修学支援のシステム構築が急務の課題となっています。関西大学では、2013年度から支援システムづくりに着手し事例の検証を重ねながら体制を築いてきました。

一方、吹田市では2012年度からの福祉避難所の指定や災害対策基本法の改正に伴い2013年の「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」に基づき、要支援者名簿の作成といった「災害時要援護者支援事業」に取り組んでいます。

本日のシンポジウムでは、「備えあれば憂いなし」のことわざ通り、日ごろの支えあいの仕組みづくりが災害時に生きてくるという観点から「日常と非日常をつなげる支援システムとコミュニティのあり方」について皆さんとともに考えたいと思います。

#### 第1部 関西大学学生相談・支援センター「障害のある学生支援事業 —システムづくりと実際—」

神藤 典子（グループ長）

藤原 隆宏（身体障害担当コーディネーター）

近森 聡（精神／発達障害担当コーディネーター）

#### 第2部 吹田市福祉部「災害時要援護者支援事業 —システムづくりと実際—」

山内 薫（福祉総務課長）

#### 司会・コメンテーター

加納 恵子（社会学部教授・障害者問題研究班幹事）

\* \* \*

●聴講無料 予約は不要です。多数のご来場を歓迎します。  
手話通訳あり



主催 関西大学人権問題研究室

共催 関西大学学生相談・支援センター  
関大防災Day2016実行委員会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

ホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/hrs>